

意見書

6月定例会では意見書2件を全員賛成で可決し、国など関係機関へ送付しました。

地方財政の充実・強化を求める意見書

公共サービスの質の確保と地方自治体の安定的な行政運営実現に向け、来年度の地方財政計画、地方交付税及び一般財源総額の拡大を求めるもの。

可決

さらなる年金削減の中止を求める意見書

国は特例水準解消のため、来年4月まで段階的に年金を削減しているが、高齢者の生活と地域経済を守るために、さらなる年金削減の中止を求めるもの。

可決

みなさんからの 請願・陳情

3月定例会では請願1件、陳情5件を各常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

請 願	提 出 者	紹介議員	結果
規制改革会議の「農業改革」案の撤回と農業委員会・農業協同組合の「自主・自立」を基本とする改革を求める請願	福島県北農民連 会長 大橋芳啓	浅野富男	不採択 (採択に賛成1、反対10)
<p>採択に賛成 浅野 富男議員</p> <p>農業改革案は、農地管理の規制を一気に取り払い、投機の対象とし、これまでの農家の自主性をないがしろにするもので、改革案の撤回を求める本請願を採択すべき。</p>		<p>採択に反対 渡辺 勝弘議員</p> <p>農業従事者の高齢化対策や農業で生活していくためには農業改革は必要であり、不採択にすべき。</p>	
陳 情	提 出 者	結果	
地域経済の活性化と住民の住環境改善のために住宅リフォーム助成制度の創設・拡充・継続を求める陳情書	全建総連 福島建設ユニオン 執行委員長 宮地 明 福島県飯坂建設組合 組合長 加藤勝雄	町にはすでに助成制度があるため不採択 (採択に賛成1、反対10)	
<p>採択に賛成 浅野 富男議員</p> <p>助成制度は、地元の業者が地元にお金を落とし、地域経済の活性化に有効なため、本陳情は採択すべき。</p>			
住民の命を守る住宅の耐震化を促進するために耐震改修助成制度の創設・拡充を求める陳情書	全建総連 福島建設ユニオン 執行委員長 宮地 明 福島県飯坂建設組合 組合長 加藤勝雄	町ではすでに助成制度を実施しているため不採択 (採択に賛成1、反対10)	
<p>採択に賛成 浅野 富男議員</p> <p>緊急の課題である耐震化を進めるためにも助成制度は必要であり、本陳情は採択すべき。</p>			
地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について	自治労国見町職員労働組合 執行委員長 中條伸喜	採択 (全員賛成)	
「さらなる年金削減の中止を求める」意見書提出を求める陳情書	全日本年金者組合 伊達支部 支部長 菅野顕光	採択 (全員賛成)	
「公共工事における賃金等確保条例」(公契約条例)の早期制定を求める陳情書	全建総連 福島建設ユニオン 執行委員長 宮地 明 福島県飯坂建設組合 組合長 加藤勝雄	震災後の特殊な状況では、慎重な審議が必要なため継続審査(全員賛成)	

町政を問う

一般
質問

6月定例会

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

～6人の議員が登壇し、
活発な議論を展開～



議員	質問事項	ページ
佐藤 定男	役場職員の対応をさらに向上させよ	8
	役場内で朝礼・終礼を	
井砂 善榮	今年のおんぼ柿生産は大丈夫か	9
	桃せん孔細菌病の対策を	
渡辺 勝弘	歴史まちづくり計画をなぜ急ぐのか	10
阿部 泰藏	今後の鳥獣被害対策は	11
	太陽光発電事業補助金を増額するのか	
浅野 富男	低所得世帯の教育に対する支援は	12
	「集団的自衛権」に対する町長の考えは	
村上 正勝	大枝の中尊寺蓮周辺の整備を	13

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

町長の行政報告（抜粋）

■東日本大震災からの早急な復旧・復興

5月に、根本復興大臣が来町し、復興状況の視察と意見を交換した。

住宅・宅地除染は、今年度に1500戸を予定し、73戸に着手。昨年度分は、繰り越し分を含め1083戸を完了。（7月16日現在）

ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は、中学生が終了し、6月から1歳以上を対象に小学生、高校生、一般希望者などを実施中。

ガラスバッチによる外部被ばく量の測定は、8月から中学生以下と一般希望者の実施に向け準備中。

放射性物質吸収抑制対策は、3月に水田約430畝、6月に大豆のほ場約25畝で実施。8月にはそば畑で実施予定。

■安全安心なまちづくり

空き家実態調査事業は、現地調査資料の作成に向け協議中。

■活力あるまちづくり

道の駅（交流の場）は、県北都市計画の地区計画（素案）を県と協議し、公告・縦覧後に審査会を開く予定。また造成と建築の実施設計を進めている。

町内企業との連携として、東京都内の大岩マシナリー本社や荏原製作所などを訪問し、トップセールスを実施。今後は、仙台市の東芝東北支社なども訪問予定。

■活力あるまちづくり

4月の「桜まつり」で新たに「光のトンネル」を設置。6月1日には、町民参加型の「国見ルネッサンス2014」を開催。6月に、国登録文化財「奥山家住宅」で「アフタヌーンティー・パーティー」を開催し、文化財の新たな活用と「町のたから」を再確認した。

■思いやりのあるまちづくり

廃校利用は、旧小坂小を高齢者の生きがいがづくりの拠点に改修予定で、旧大木戸小を文化財の展示資料室や収蔵施設として活用するため文化庁と協議中。

■町の継続的な維持発展

「歴史を活かしたまちづくり」を進め、今年度中の「歴史まちづくり計画」の策定を目指す。

●各大学との連携

桜の聖母短期大学とは、食育教育や新商品開発、福島大学とは、歴史を活かしたまちづくりや集落活性化、農業の6次化など、東海大学とは、商店街の活性化や中心市街地の活性化などで連携し、大学教授や学生の知力と若さをまちづくりに活かす。

●学校教育充実のための取り組み

小・中学校、幼稚園で「学校運営協議会」を設置するため、地域と共に学校づくりを目指す「コミュニティ・スクール推進委員会」、土曜日や長期休業中における教育充実の方向性を検討する「放課後等の教育充実に関する検討委員会」、いじめ防止対策法に基づく、いじめ問題への基本方針を策定する「いじめ防止対策検討委員会」を立ち上げた。